

2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	演習 I		
担当教員名	大矢 奈美		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
	○	○	○
科目のテーマ	<p>講義科目である「計量経済学特別研究」で学んだテクニックを用いた、社会保障分野、労働経済学分野の実証分析を扱う。</p> <p>実証分析の例として、人口減少社会における高齢者就業、高齢者就業と年金等社会保障制度の関係、若年者の労働市場に関わる問題、不安定就業者に対する職業能力開発などが挙げられる。</p> <p>こうした問題について、経済学の各理論から示唆される効果を実証的に確かめる方法を考える。</p>		
科目内容・方法等	<p>演習 I では、上記テーマに関連する先行研究について、理論的な枠組みと実証分析の手法を対比させながら読む。使用データが公開されているものもあるので、それらのいくつかについて、実際に分析をおこなうことにより、論文の基本的な構成を理解する。</p> <p>その過程において、受講生の研究テーマに沿った分析手法、データを検討し、毎年度、行われる「研究報告会」での報告内容を詰めていく。詳細については、履修者と相談の上、決める。</p> <p>なお、上記テーマを扱うため、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学、計量経済学については、最低限、学部レベルの基礎的な理解があることが求められる。また、労働経済学、社会保障論についても、基礎的な理解が必要である。</p>		
到達目標：	<p>・現代社会の課題（特定の市場に限っても良い）について、適切な手法とデータを用いて計量分析することができること。</p>		
評価方法及び評価基準：	<p>授業における報告への取り組み姿勢（2割程度）、報告内容（8割程度）により、研究科の成績評価基準に照らして評価を行う。</p>		
授業の方法：	<p>先行研究、ならびに公表されたデータを用いた計量分析の結果について、受講生が報告することを基本とする。必要に応じて、PC を使ってデータ分析をおこなう。</p>		